

女川原子力発電所3号機
非常用ディーゼル発電機（A）過給機の点検結果について

1. はじめに

東京電力ホールディングス（株）柏崎刈羽原子力発電所1号機で発生した非常用ディーゼル発電機（A）過給機軸固着事象に関連し、女川原子力発電所3号機非常用ディーゼル発電機（以下、「非常用D/Gという。」）（A）の過給機について点検を実施したことから、その点検結果について報告する。

2. 点検内容

女川原子力発電所3号機非常用D/G（A）の過給機は、タービンブレードの取外し・再取付け実績がない過給機である。それぞれロータ軸中心から各タービンブレードワイヤ孔位置までの寸法を計測し、隣り合うブレードとの孔位置の差を計測する。計測結果について、第一判定として、計測した結果が設計上の最大位置ずれ寸法（0.22mm）以内であることを確認する。第一判定を超えていた場合は、第二判定としてメーカー推奨値以内（0.60mm）であり、かつ、非破壊検査にてファツリー部にき裂が認められないことを確認する。

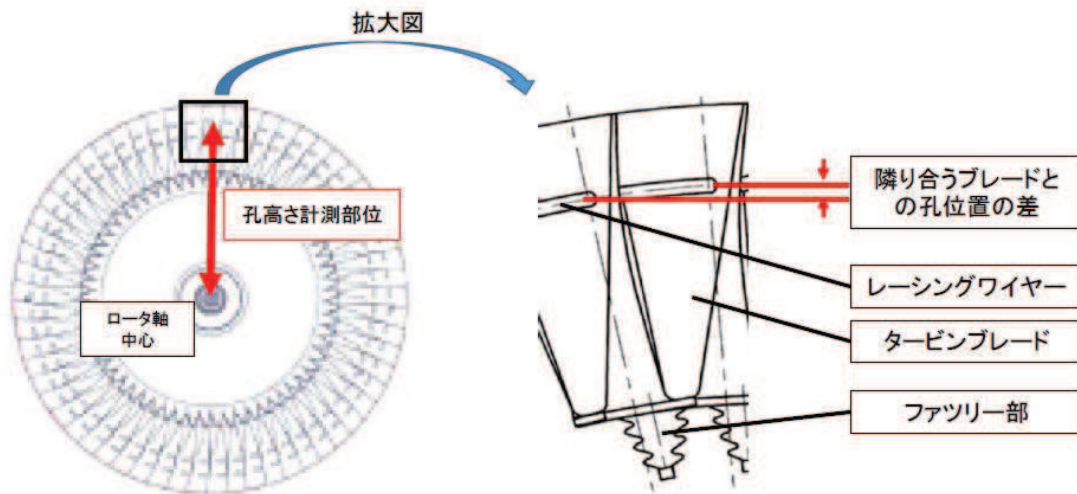


図1 タービンブレードレーシングワイヤ孔位置測定概要図

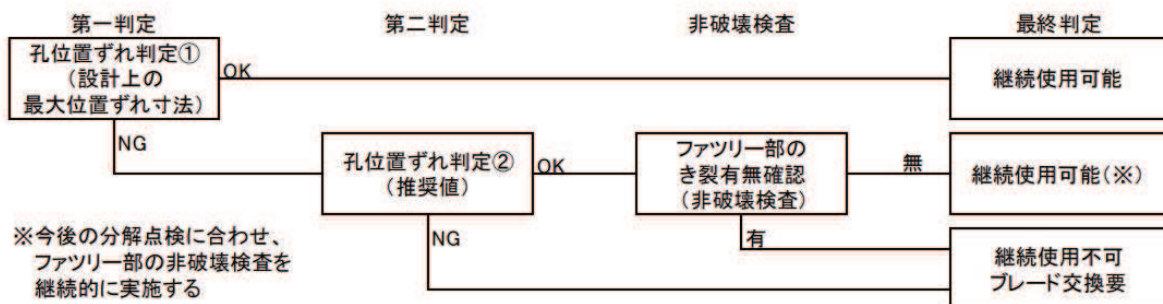
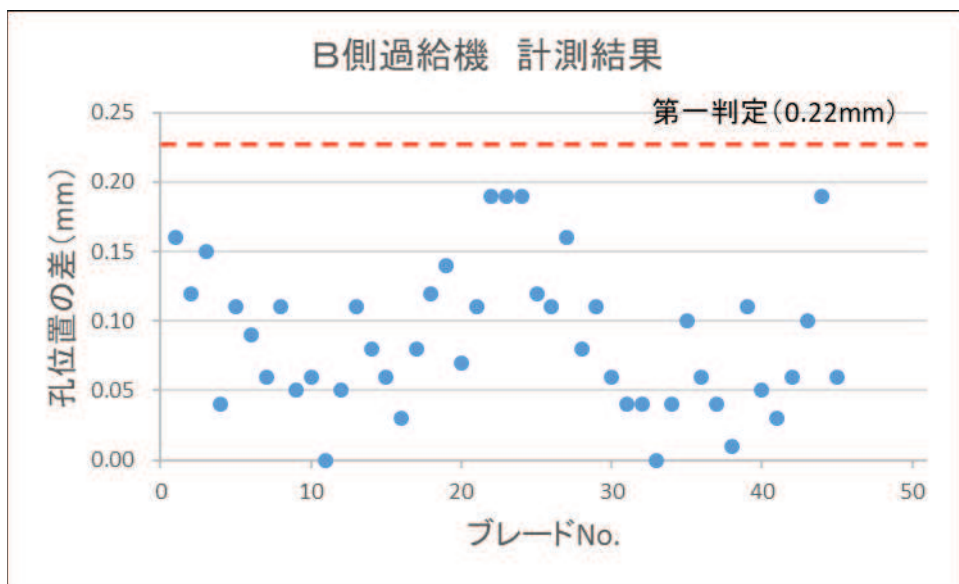
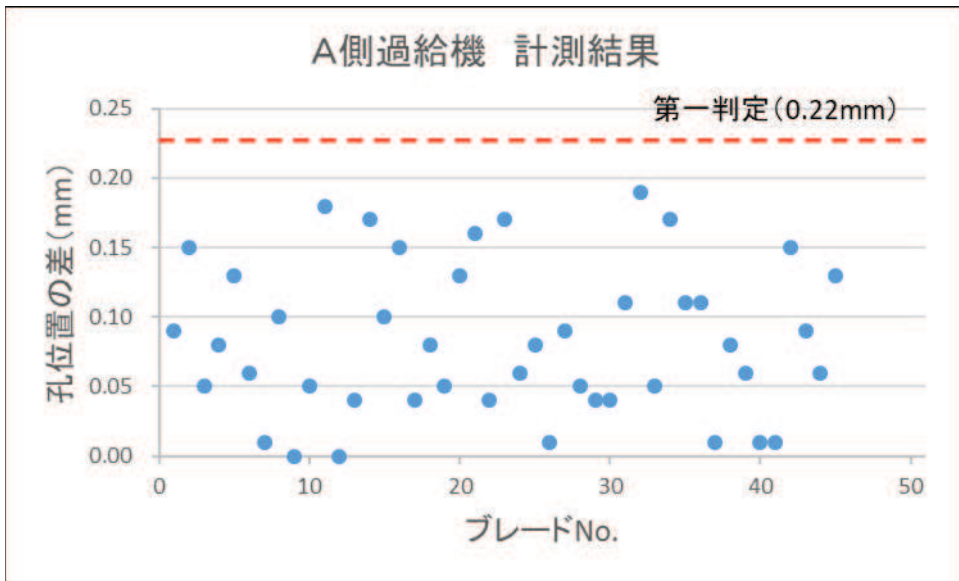


図2 継続使用可否判定フロー

3. 点検結果

隣り合うブレードとの孔位置の差を計測した結果、最大 0.19mm であり、すべて第一判定の設計上の最大位置ずれ寸法 (0.22 mm) 以内であり、判定基準を満たしていることを確認した。



※発電機側より機関を見た場合、左側が「A側過給機」、右側が「B側過給機」という。

なお、その他非常用D/Gについては、計画的に点検を実施していく。

以上

参考資料： 東北電力 非常用D/Gの水平展開実施計画・実績

東北電力 非常用D/Gの水平展開実施計画・実績

【点検計画】

□: 今回報告分

■: 点検実績

○柏崎刈羽原子力発電所1号機非常用D/Gと同一メーカー製の非常用D/G

事業者	プラント	実施内容	2022年度				2023年度				2024年度				2025年度			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
東北電力	女川 1号機A	②																
	女川 1号機B	②																
	女川 2号機A	②																
	女川 2号機B	②																
	女川 2号機H	②																
	女川 3号機A	②																
	女川 3号機B	②																
	女川 3号機H	②																
	東通 1号機A	②																
	東通 1号機B	②																
	東通 1号機H	②																

※1 上記工程は現時点での予定であり、今後、他作業との調整、プラント再稼働・廃炉方針の変更などにより変更となる可能性があります。

※2 上記工程は過給機点検体制を工場1班、現地2班として組んだ工程です。

【実施内容】

実施内容② 計画的に、同様構造のD/G過給機のタービンブレードレーシングワイヤ孔の位置測定を行い、隣り合うブレードの孔位置の差が一定の基準を逸脱しているものは、タービンブレードを新しいものに交換する。